

美術研究科工芸専攻

養成人材およびカリキュラム編成の方針

工芸専攻は、基本的な知識と技術を基に、現代の多様化する社会における価値観や技術を吸収し、さらなる発展をなし得る能力を身につけたアーティストを養成します。さらに工芸分野における研究者の育成も目指しています。工房制作を中心とした少人数制による個人指導のもと、より高度で専門的な知識習得と実技修練、学生が個々に持つ創造性の開発を図るカリキュラム編成となっています。また、グローバル人材の育成のために国際交流や地域連携にも力を入れ、工芸専攻としての特色を活かした研究活動や社会活動にも積極的に参加できるよう学生を支援しています。

求める入学者像

- ・研究分野の素材に関心があり、工芸及び美術作品やデザインに興味のある人・手仕事による制作に興味があり、専門家（作家、起業家、デザイナー）を目指している人
- ・伝統と現代双方に関心を持ち、物事を客観的に捉えられる人
- ・工芸教育に理解を持ち、社会や地域に貢献することに意欲のある人
- ・日本文化や他国の文化に関心があり、グローバルな視野を求めている人

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「修了制作」を含めた所定の単位を修得した学生を修了と認め、修士の学位を授与する。

カリキュラム構成

修士課程は、学生の研究テーマによって研究・制作が進められ、幅広い知識、より高度な専門性、独自性を探求します。

さらに、社会との連携プログラムも組み込まれるなど、より高度な教育を行います。

2年次には修了制作に取り組み、研究成果を発表します。

教育目標

- ①研究テーマに即した専門技術・知識の研究。
- ②素材と技術から発展していく独自の表現の創造。
- ③国内外の文化の理解と交流の取り組み

研究分野	年次	科目		教育目標
彫金	1年次	必修科目	彫金技法研究Ⅰ	①②③
			彫金技法研究Ⅱ	①②③
			彫金制作法Ⅰ	①③
			彫金制作法Ⅱ	①③
			精密鑄造法Ⅰ	①
	2年次	必修科目	彫金技法研究Ⅲ	①②③
			彫金技法研究Ⅳ	①②③
			彫金制作法Ⅲ	①③
			彫金制作法Ⅳ	①③

【次ページへ】

鍛金	1年次	必修科目	鍛金技法研究Ⅰ	①②③	
			鍛金技法研究Ⅱ	①②③	
			鍛金制作作法Ⅰ	①③	
			鍛金制作作法Ⅱ	①③	
			精密鑄造法Ⅰ	①	
	2年次	必修科目	鍛金技法研究Ⅲ	①②③	
			鍛金技法研究Ⅳ	①②③	
			鍛金制作作法Ⅲ	①③	
鍛金制作作法Ⅳ			①③		
鑄金	1年次	必修科目	鑄金技法研究Ⅰ	①②③	
			鑄金技法研究Ⅱ	①②③	
			鑄金制作作法Ⅰ	①③	
			鑄金制作作法Ⅱ	①③	
			溶接法Ⅰ	①	
	2年次	必修科目	鑄金技法研究Ⅲ	①②③	
			鑄金技法研究Ⅳ	①②③	
			鑄金制作作法Ⅲ	①③	
鑄金制作作法Ⅳ			①③		
漆芸	漆工	1年次	必修科目	漆造形・装飾技法研究Ⅰ	①②③
				漆造形・装飾技法研究Ⅱ	①②③
				漆芸歴史研究Ⅰ	①③
				漆芸歴史研究Ⅱ	①③
	2年次	必修科目	漆造形・装飾技法研究Ⅲ	①②③	
			漆造形・装飾技法研究Ⅳ	①②③	
陶芸	陶・磁	1年次	必修科目	陶磁技法研究Ⅰ	①②③
				陶磁技法研究Ⅱ	①②③
				窯炉制作実習	①②
				薪窯焼成実習	①②
	2年次	必修科目	陶磁技法研究Ⅲ	①②③	
			陶磁技法研究Ⅳ	①②③	
染織	染	1年次	必修科目	染技法研究Ⅰ	①②③
				染技法研究Ⅱ	①②③
		2年次	必修科目	染技法研究Ⅲ	①②③
				染技法研究Ⅳ	①②③
	織	1年次	必修科目	織技法研究Ⅰ	①②③
				織技法研究Ⅱ	①②③
		2年次	必修科目	織技法研究Ⅲ	①②③
				織技法研究Ⅳ	①②③

【次ページへ】

素材造形	木工	1年次	必修科目	木材造形研究Ⅰ	①②③
				木材造形研究Ⅱ	①②③
				木材技法材料研究Ⅰ	②
				木材技法材料研究Ⅱ	②
		2年次	必修科目	木材造形研究Ⅲ	①②③
				木材造形研究Ⅳ	①②③
				木材技法材料研究Ⅲ	②
				木材技法材料研究Ⅳ	②
	ガラス造形	1年次	必修科目	ガラス技法研究Ⅰ	①②③
				ガラス技法研究Ⅱ	①②③
				古典技法研究Ⅰ	①
				古典技法研究Ⅱ	①
				溶解炉実習Ⅰ	②
				溶解炉実習Ⅱ	②
2年次	必修科目	ガラス技法研究Ⅲ	①②③		
		ガラス技法研究Ⅳ	①②③		
		古典技法研究Ⅲ	①		
		古典技法研究Ⅳ	①		
		溶解炉実習Ⅲ	②		
		溶解炉実習Ⅳ	②		